大正八年三月七日第三種郵便物認可　昭和五年十月十七日　THE IWAKIJIHO　(金曜日)　第五千廿二號　(一)

岩城時報

十六日刊

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

秋刀魚船寶珠丸の會計係慘殺さる

一千余圓の行衛不明　平署刑事豊間に急行

石城郡豊間村遠藤藤之助所有秋刀魚船寶珠丸は岩手縣沖合に於對にないから殺害されたものでて秋刀魚十萬尾を漁獲し十三日岩手縣釜石港に入港右秋刀魚を尚ほ船主遠藤藤之助氏は九百余圓で賣り捌き、十四日同港を出帆せんとした處、同船の會計係で現金全部を保管してる豊間村字八幡町鈴木熊藏（四二）の姿が見えないので大騒ぎとなり、捜索した處同日午後釜石港南方海岸に熊藏の死體が漂着したので大騒となり其筋に届け出でた、檢死の結果他殺の疑ひ充分なので詳細調査した處同人が保管してゐた同船の賣上高並に同人が所有してゐた現金合余圓の行衛が判明せぬため、所轄署では同人が上陸中何者かが現金强奪の目的で殺害し死體を海中に投じたものと睨み犯人捜索を開始したが、寶珠丸は十四日歸港すべく釜石港を出帆したので急報に接した平署から十五日刑事三名が豊間村に出張し寶珠丸の着港を待つて乘組員を取調べるため張り込んでゐる、同船は今朝中に着港の豫定で同時に眞相が判明するであらうが、會計係鈴木熊藏は眞面目な男でやうにはなつたが兩毛の機業地いてゐる。

植田の長男殺し

懲役二年半を言渡さる

きのふ仙臺控訴で公判

福島縣石城郡植田町仁井田下山田寅市（六二）は次男武と共謀して長男勝枝が狂暴性を帶び家庭の平和を妨け且は近隣への顔向も出來なかつたのを遺憾として遂にこれを殺害し死体を遺棄するに至つた事件は福島地方裁判所で審理の結果寅市に對し懲役五年をいひ渡されたが、寅市はこれに不服で宮城訴控院に控訴したが、十五日原審の丁度半分の刑に當る懲役二年半をいひ渡された。

勿來町で不況對策座談會

勿來町では此程同町才丸屋旅館に町會議員一同會合不景氣對策に就いて座談會を開き各自腹藏なき意見の交換を行つたが、先づ不景氣對策として明年度豫算は縣の通牒もあり又事實において、財源難から思ひきつた節約を圖らなければならぬので、これに倣ひ各種の催し、殊に從來冗費極めて多かつた冠婚葬祭に就いては持に節約の余地があるため是れ等を矯正するには先づ町議の費用辨償を半減する必要があるとこの意見が多く出るなど著しく減收を來す結果となるのでこの点充分注意し智識的に栽培をして貰はねばならぬ、今年は折角豊作であるのに減收する樣な事があつてはそれこそ取返しのつかぬ事になるので一般に實行してほしい。

▲うどん値下げ

四倉町麵業組合では十日よりうどんそばを八錢に値下げした。

救濟資金

減ぜぬやう陳情

縣下各漁村は魚價の安値と不況のため疲弊その極に達してゐるのでこれが救濟策として差當り今回の農漁山村救濟金を借入れるべく申込んでゐるが、石城郡江名濱では十五萬圓、豊間濱では十萬圓共に申込んでゐるもこれを査定減額されるやうの事があつては救濟上困るから是非申請額だけの貸付をして貰ひたいと鈴木（辰）縣議は出縣野上水產課長、小柳知事を訪れ陳情する處あつた。

所調委員選擧

棄權は謹少か

所得稅調査委員選擧は十六日午前八時から各町村役場に於て執行されたが、平町に於ては正午まで百五十名の投票あり有權者の半數に達した、この分では棄權は思ひの外少ないであらうと察せられてゐる。

▲狩獵免許數

四倉警察署管内に於ける狩獵免許をうけたものは十六日迄七名である

四倉町の聯合運動會

石城郡四倉町小學校では實踐女學校並に男女青年團と聯合し十五日運動會を催ほしたが、本社寄贈のメダルは右の二君の手に歸した

▲四倉商業水產校三年生根本利雄、青年團五十嵐正一

火葬人が腦溢血をさる

石城郡川部村芳賀芳夫（三一）は去る九月二十九日午前十時頃前日死亡した同村小泉彦衛（八一）の火葬代理人として同村の火葬場に於て之を行つたが、同人は豫て太竹を削り火葬立會人其他居ならぶ面前で燃燒しつゝある遺骨を粉碎し腦漿をとつた事此程判明し目下植田署に於て取調をつてゐる、原因は全く無智の然らしめた迷信から來たものだと言はれて居るが、何れにしても珍らしい事件として其成行きに對して重大視されて居る。

鼻の藥「チタノール」
平五　山野邊藥局

石炭は賣れても代金を支拂はぬ

好いこの頃の顧客

常磐炭礦の苦境

石城の各炭礦では昨今あつきりを初め兎角得意先の代金支拂が滯ほり勝ちで折角石炭を送つてもなかなか代金を送つて來ないので近く貯炭のため困つてゐる、同炭は今朝中に着港の豫定で同時に眞相が判明するであらうが、會計係鈴木熊藏は眞面目な男でやうにはなつたが兩毛の機業地いてゐる。

△△△△△△△

石城郡農會で刈り取れ早く刈り取れと宣傳

石城郡農會では昨今あつきりを初め兎角得意先の代金支拂が滯ほり勝ちで折角石炭を送つてもなかなか代金を送つて來ないので近く貯炭のため困つてゐる、同炭は今朝中に着港の豫定で同時に眞相が判明するであらうが、會計係鈴木熊藏は眞面目な男でやうにはなつたが兩毛の機業地いてゐる。

△△△△△△△

稻は早く刈り取れ

石城郡農會で宣傳

石城郡農會では昨今あつきりを初め兎角得意先の代金支拂が滯ほり勝ちで折角石炭を送つてもなかなか代金を送つて來ないので近く貯炭のため困つてゐる、同炭は今朝中に着港の豫定で同時に眞相が判明するであらうが、會計係鈴木熊藏は眞面目な男でやうにはなつたが兩毛の機業地いてゐる。

相馬支局通信

原町で下水道計劃

相馬郡原町にては失業救濟事業として下水道工事を起す事となりこれが經費三萬圓は低利資金による計劃にて委員として町會議員中より木幡清、佐藤貫良、庄司卷造、中村文太、高田忠孝の五氏を擧げた。

▲大工さんの訓諭

相馬郡原町下町大工職高山菊雄（二九）は十二日午前中夫婦喧嘩の末金三圓余圓を懷中にし小高町西村屋料理店酌婦日下チヨ（二三）を連れ出し中村町伊勢屋旅館に夫婦氣取りで止宿中同署員に取調べられ右の始末と分つて不心得を諭され歸宅、呆れたそばから町麵業組合では十日よりうどん著者共だ。

▲高平校運動會

暑からず寒からず本営に恵まれた運動日和の十五日は相馬郡高平村小學校校庭で同村男女青年團、青訓生等の合同運動會を催したこの日は運動奨勵の意味で全村休日となし老も若きも男も女もと總出で觀覽。小學生徒を始め青年男女の旺溢せる元氣を出して競技に熱中し場外に溢るゝ觀覽者の應援と相和し大盛會にタ刻閉會した。

濱二郡事務講習會

縣町村長會主催にて二十七日午前十時より三日間中村町相馬郡農會事務所に開催。

▲原町生産展覽會

原町にては近く同町生産品屋覽會を開催する事に決した。

※原町座便り

相馬郡原町座にては關西青年名題歌舞伎松鶴家大一座、座員實に四十余名の一行をまねぎ十五日午後九時より花々しく開演したるが、非常の人氣にて滿員締切りの盛況を見た、入場料は大人二十錢、小人十錢。

農村青年へ

松田三郎

四月の初めから苦心慘憺して漸く苗を作つた。いよ〳〵米の收穫が出來るやうになつたが、儲て賣出して見ると驚く勿れ米一俵十圓以下に至つては泣くにも泣かれないではないか。米が上れば、赤い着物を買つてやるから子守をせよ。長靴を買つてやるから手傳ひをせよ。とおだてられて着物や靴を唯一の目的、希望として子守もし、手傳ひをもした子供に、その時が來ても一枚の着物、一足の靴さへ買つて與へることの出來ないその親心はどんなであらうか。泣いて泣きゝれないではないか、人事を盡して天命を待つとはいふものゝ、事玆に至つては神も佛もないかと天を恨み、地を呪はざるを得ない。日本の政治家は何をしてゐる、眼が開いてゐるのか盲なのか、死んでゐるのか、生きてゐるのか。お互百姓は一體何處へ行くのだ、生くべきか死ぬべきか。

然し、恨むまい、呪ふまいたよるまい、賴むまい、國家有事の日。天變地異の際に自活の出來るものは吾々百姓だけではないか。生るために百姓ほど強いものがあるか。自己の生命を維持するこゝろに人の生命を維持するものだ。こんな尊い神樣と同じやうな仕事が外にない。とはいふものゝ、都會生活者の表面を見れば迷はざるを得ない、不平も云ひたくなる、泣きたくもなる、都會に飛び出したくもなる。何處に何の希望がある、何の娯樂がある。今の農村にはかうした迷つてゐる人が澤山にゐる、稼ぐに追付く貧乏なしといふものゝ、かうして迷ひ始めると貧乏は貧乏でどんなに働いても結局何の役にも立たない故にわれ〳〵青年が、自ら中堅となつて村の老農諸先輩あるひは學識のある人々の意見を參考として、その村、その字に固有の農村是を樹立して、その大目標に向つて馬車馬的に猛進することがお互農民として生くべき最も確實な道であることを提唱するものである。

カキ貝御料理
カキフライ
カキなべ
カキスの井
右之通り御案内申上ます
御料理仕出し
電話一六七番

看護婦派出の需めに應じます
平會
會長清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】

胃腸專門
內科
十二指腸虫病
胃性腸病
松村科醫院
平町（電話一〇七）

梅毒專門
淋病
婦人病
皮膚病

首より上の
化粧品と器具
……理髮店用バリカンと剃刀
……安全の及と器械及び皮砥
白衣と鏡取揃えてあります
經濟の
クリーム・ポマード
ハカリ賣
フケ取香水・純椿油
平町土橋山崎合名會社向
芳香園理髮器具店
電話六八〇番

美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
ヌポン飴
本舗福島縣石城郡平町
ヌポン錠　定價三圓
ヌポン酒　定價二圓
代理店
平町五丁目角
山野邊藥局

平新川町十九
木村病院
電話一六四
產婦人科　院長　木村寅次郎
女醫　木村コウ
內臟外科　醫學士　松永憲一
整形外科
藥局　東京藥學士　萩原駿二

二葉印刷所
平町字仲町
改……
電話一九三番

北澤樂天全集豫約趣意書

秋もいよ〳〵深くなりお互すみ心地よい時候になりました。さて今回我國漫畫會の泰斗として獨自の境涯に顚然異彩を放たれてゐる北澤樂天先生が一世一代の仕事として試みられた『樂天全集』が左記の方法で一般愛讀者各位に頒たれることになりましたが各位も御承知の通り先生は昨年月我國大統領の後援によりフランス巴里に於て先生の個人展覽會を開催され、亦引き續ぎ英、米兩國に於て同展覽會を催し、之れが爲め歐米の全大地に非常な人氣を博し、我國漫畫界の權威を海外に知らしめたのである。先生の畫想筆致には他の追從を容さぬ剛健と諷刺、潑溂さが畫面全體に溢れ、一點一角はすでに人生の縮圖を爲し、社會の縱斷面を形成し、一讀一閱は一閱ごとに人生裡面の生活內容が心行くまで無事に展開されて行くのであります。實に之れ世を明るく愉快に所謂人生行路の指針とも云ひつべきでありませう。秋は燈下に樂しむとか申しまして讀書三昧に耽るには絕好の時分でありますから、此の時一此の際一この大至寶『樂天全集』を一右に飾られる事は御家庭を層明るく愉快に導く最も良き友ではないでせうか。此好機を見遁さず進んで御賛成御加入あらんことを切に御願ひいたします

平町　賀澤忠治

樂天全集頒布方法

▼全卷拾貳冊
▼每月一回二冊配本十月（昭和六年九月終了）
▼一冊金壹圓五拾錢
▼代金は配本の際引替のこと
▼申込所　石城郡平町賀澤忠治方

和洋鋼鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九番

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「粟守酒」
朝の一盃は精力の滋源、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店　大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢　平町一丁目　電話六二

印刷物は……加納活版所